



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月9日

上場会社名 高島株式会社 上場取引所 東
コード番号 8007 URL <https://www.tak.co.jp/ja/index.html>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高島 幸一
問合せ先責任者 (役職名) 経理ユニットマネージャー (氏名) 境 功騎 TEL 03-5217-7297
四半期報告書提出予定日 2023年11月9日 配当支払開始予定日 2023年12月11日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	42,010	8.2	1,018	70.6	1,171	68.6	720	41.5
2023年3月期第2四半期	38,817	2.8	596	△30.5	694	△27.9	509	△26.4

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,521百万円 (50.0%) 2023年3月期第2四半期 1,014百万円 (42.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	40.49	—
2023年3月期第2四半期	28.44	—

(注) 当社は、2023年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき4株の割合をもって株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	59,628	20,633	34.6	1,158.30
2023年3月期	53,060	19,539	36.8	1,098.11

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 20,633百万円 2023年3月期 19,539百万円

(注) 当社は、2023年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき4株の割合をもって株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	70.00	—	100.00	170.00
2024年3月期	—	80.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	25.00	—

(注1) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。1株当たり配当金は、2023年3月期及び2024年3月期第2四半期末については当該株式分割前の金額を記載し、2024年3月期末については当該株式分割を考慮した金額を記載しております。株式分割を考慮しない場合の2024年3月期の1株当たり期末配当金は100円となり、1株当たり年間配当金は180円となります。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	94,000	18.0	2,300	30.3	2,400	23.7	1,700	7.2	95.50

（注1）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

連結業績予想の修正については、本日（2023年11月9日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

（注2）年次での業績管理を行っておりますので、通期業績予想のみを開示しております。

（注3）当社は、2023年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき4株の割合をもって株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	17,865,092株	2023年3月期	17,865,092株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	51,664株	2023年3月期	71,552株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	17,801,955株	2023年3月期2Q	17,913,095株

（注）当社は、2023年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき4株の割合をもって株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
(4) 株主還元	6
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	13
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	13
(セグメント情報等)	14
(重要な後発事象)	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

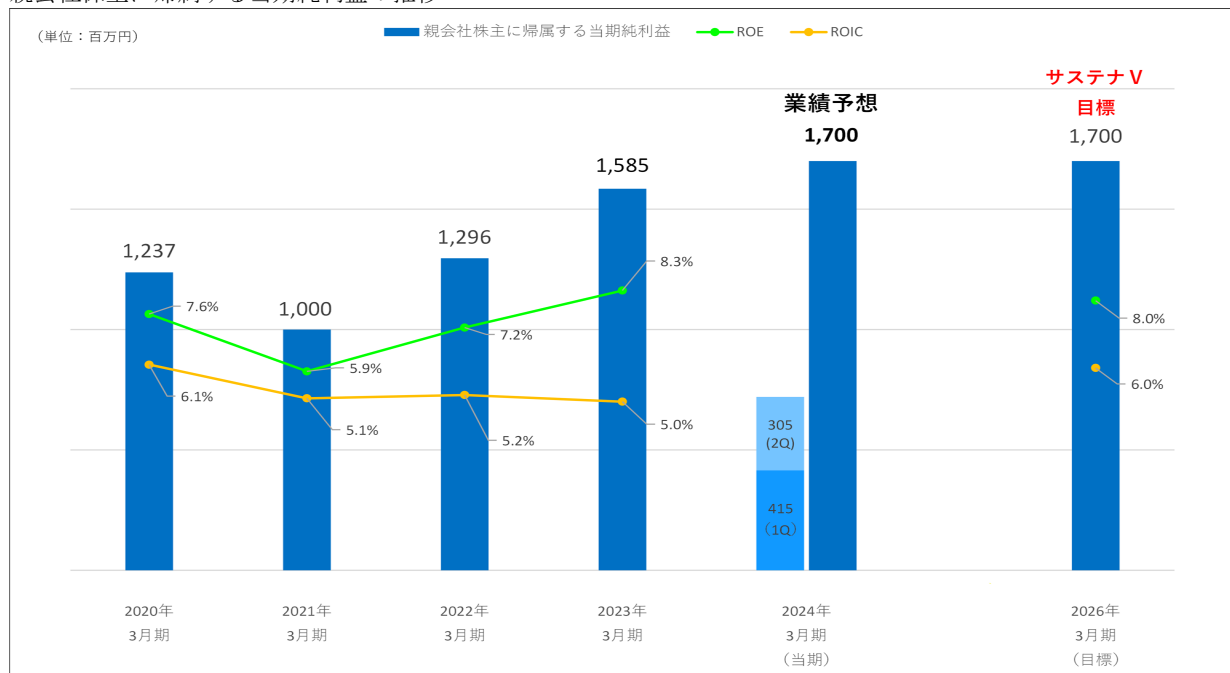
当社グループは、プライム市場の上場維持基準適合に向けた計画書及び2026年3月期を最終年度とする中期経営計画「サステナV（バリュー）」において親会社株主に帰属する当期純利益1,700百万円、ROE8.0%以上、ROIC6.0%以上の達成を目標として掲げております。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は42,010百万円（前年同四半期8.2%増）、営業利益は1,018百万円（同70.6%増）、経常利益は1,171百万円（同68.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は720百万円（同41.5%増）となりました。

(単位：百万円)

	前期	当期	増減額	増減率
売上高	38,817	42,010	3,193	8.2%
営業利益	596	1,018	421	70.6%
経常利益	694	1,171	476	68.6%
親会社株主に帰属する四半期純利益	509	720	211	41.5%

親会社株主に帰属する当期純利益の推移



セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

なお、2023年4月1日付で実施した組織変更に伴い、第1四半期連結会計期間より、従来「産業資材」に区分していた高島株式会社の機能資材関連分野のうちビルメンテナンス事業および膜構造関連分野を「建材」に変更しております。前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分に基づき作成したものを記載しております。

<セグメント売上高>

(単位：百万円)

セグメント	前期		当期		増減額	増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比		
建材	22,413	57.7%	26,313	62.6%	3,900	17.4%
産業資材	7,896	20.3%	8,198	19.5%	302	3.8%
電子・デバイス	8,410	21.7%	7,401	17.6%	△1,008	△12.0%
賃貸不動産	97	0.3%	96	0.2%	△0	△0.9%
全社合計	38,817	100.0%	42,010	100.0%	3,193	8.2%

<セグメント利益>

(単位：百万円)

セグメント	前期		当期		増減額	増減率
	営業利益	構成比	営業利益	構成比		
建材	51	8.6%	544	53.5%	493	966.4%
産業資材	65	11.0%	232	22.8%	166	252.8%
電子・デバイス	423	70.9%	184	18.2%	△238	△56.3%
賃貸不動産	56	9.5%	56	5.6%	△0	△0.3%
全社合計	596	100.0%	1,018	100.0%	421	70.6%

①建材セグメント

建設資材関連分野は、物流施設や工場案件等をターゲットに工事受注を伸ばし、売上高が増加しました。再生可能エネルギー資材分野は、産業用、住宅用ともにゼロカーボン社会に向けての需要が高まり、自家消費を目的とした機器導入拡大を背景に売上伸長となりました。断熱資材関連分野は、資材販売に加え、工事案件獲得が売上増加に寄与しました。住宅資材関連分野は、売上高は減少しましたが、利益面では業績に貢献することができました。また、新エネルギー流通システム(株)及び岩水開発(株)の連結子会社化も伴い増収増益となりました。

この結果、建材セグメント全体の売上高は、26,313百万円(同17.4%増)、セグメント利益は544百万円(同966.4%増)となりました。

②産業資材セグメント

樹脂関連資材分野は、自動車分野を中心に回復し、成型加工品の受注が拡大したことにより売上高が増加しました。繊維関連資材分野は、アパレル関連が円安による小売販売価格上昇の影響を受け需要が低迷し減収となりました。また、(株)信防エディックスの連結子会社化も伴い増収増益となりました。

この結果、産業資材セグメント全体の売上高は8,198百万円(同3.8%増)、セグメント利益は232百万円(同252.8%増)となりました。

③電子・デバイスセグメント

2023年度上半期は、コロナ後の消費動向の変化に伴い、電子機器関連市場が世界的に減速したことに加えて、市場全体に部品在庫が積み上がった影響を大きく受け、減収減益となりました。

この結果、電子・デバイスセグメント全体の売上高は7,401百万円(同12.0%減)、セグメント利益184百万円(同56.3%減)となりました。

④賃貸不動産セグメント

前期から保有不動産に変動はなく、売上高、セグメント利益ともに横ばいとなりました。

この結果、賃貸不動産セグメント全体の売上高は96百万円(同0.9%減)、セグメント利益56百万円(同0.3%減)となりました。

売上高、営業利益のセグメント別構成比は次の通りです。

<売上高>



<営業利益>



(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度に比べ258百万円減少し、41,181百万円（前連結会計年度末比0.6%減）となりました。主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産が1,563百万円増加し、一方で、現金及び預金が2,082百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度に比べ6,827百万円増加し、18,446百万円（同58.8%増）となりました。主な要因は、有形固定資産が1,497百万円、のれんが5,182百万円、それぞれ増加したこと等によるものであります。

流動負債は、前連結会計年度に比べ4,734百万円増加し、32,320百万円（同17.2%増）となりました。主な要因は、短期借入金が4,326百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度に比べ739百万円増加し、6,674百万円（同12.5%増）となりました。主な要因は、長期借入金が599百万円増加したこと等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度に比べ1,093百万円増加し、20,633百万円（同5.6%増）となりました。主な要因は、配当金の支払により利益剰余金が444百万円減少し、一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が720百万円、為替換算調整勘定が435百万円、その他有価証券評価差額金が360百万円、それぞれ増加したこと等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、5,688百万円となり、前連結会計年度末と比べ2,083百万円の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動における資金の減少は、124百万円（前年同四半期は487百万円の減少）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益の計上により増加した一方で、法人税等の支払、未払金・未払費用の減少により減少したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動における資金の減少は、4,167百万円（前年同四半期は300百万円の減少）となりました。主な要因は、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出により減少したこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動における資金の増加は、2,052百万円（前年同四半期は556百万円の減少）となりました。主な要因は、短期借入金の増加により増加したこと等によるものであります。

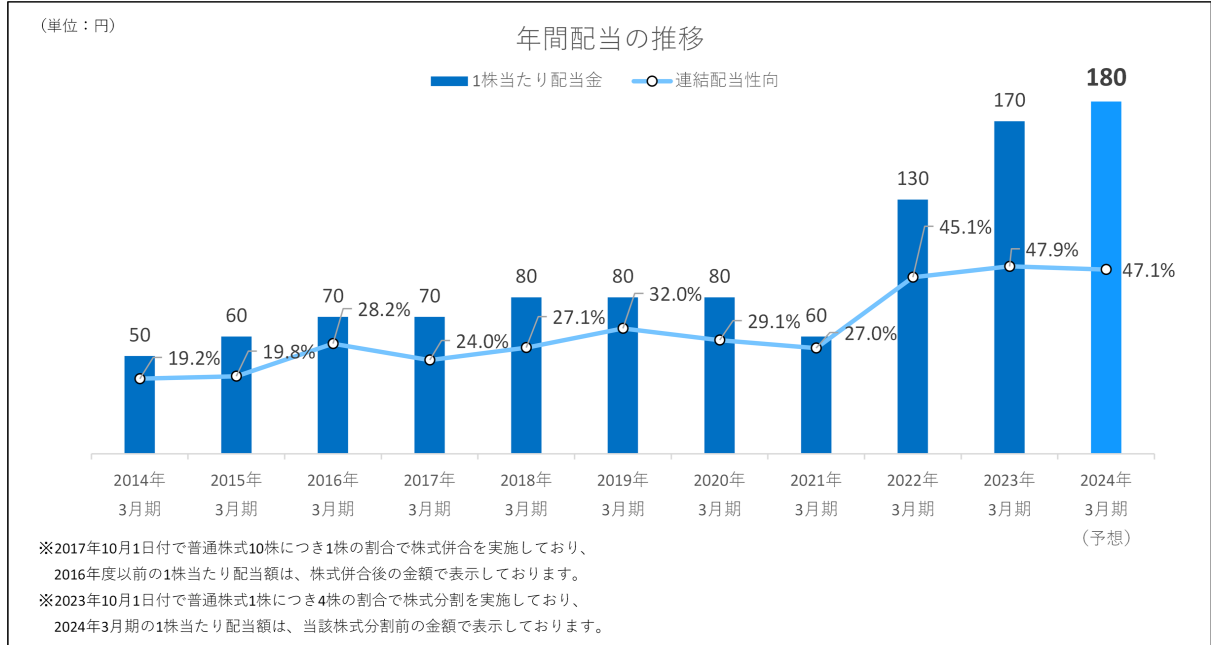
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月11日に公表いたしました2024年3月期通期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2023年11月9日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

(4) 株主還元

当社は「戦略的投資を伴う持続的成長企業」を目指し、成長投資を拡大させる一方で、資本効率性を意識し、株主還元を実施することを基本方針とし、具体的には、連結配当性向40%以上の配当を每期行い、総還元性向50%を目標に機動的な自己株式の取得・消却を実施します。また、株主の皆様への安定的な還元を念頭に、総還元額の下限を5億円としています。

当期におきましては、1株当たり180円の配当（うち中間配当80円）を予定しており、親会社株主に帰属する当期純利益の予想1,700百万円を基準とした場合、連結配当性向は47.1%となります。



2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,791	5,709
受取手形、売掛金及び契約資産	26,260	27,823
商品及び製品	5,162	5,394
仕掛品	64	180
原材料及び貯蔵品	1,446	1,458
未成工事支出金	13	98
その他	742	559
貸倒引当金	△41	△43
流動資産合計	41,440	41,181
固定資産		
有形固定資産	4,707	6,204
無形固定資産		
のれん	1,069	6,252
その他	592	590
無形固定資産合計	1,662	6,843
投資その他の資産		
投資有価証券	3,050	3,263
退職給付に係る資産	261	257
その他	2,095	2,031
貸倒引当金	△158	△153
投資その他の資産合計	5,249	5,398
固定資産合計	11,619	18,446
資産合計	53,060	59,628

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,277	16,238
電子記録債務	5,735	5,487
短期借入金	3,548	7,875
未払法人税等	384	429
賞与引当金	554	548
役員賞与引当金	52	22
その他	2,033	1,719
流動負債合計	27,585	32,320
固定負債		
社債	30	25
長期借入金	3,347	3,947
退職給付に係る負債	84	128
その他	2,472	2,573
固定負債合計	5,935	6,674
負債合計	33,520	38,995
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,801	3,801
資本剰余金	1,637	1,642
利益剰余金	12,482	12,758
自己株式	△47	△34
株主資本合計	17,874	18,167
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	704	1,065
土地再評価差額金	417	417
為替換算調整勘定	555	990
退職給付に係る調整累計額	△12	△8
その他の包括利益累計額合計	1,665	2,465
純資産合計	19,539	20,633
負債純資産合計	53,060	59,628

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	38,817	42,010
売上原価	34,449	36,141
売上総利益	4,368	5,869
販売費及び一般管理費	3,771	4,851
営業利益	596	1,018
営業外収益		
受取利息	12	40
受取配当金	86	87
持分法による投資利益	7	5
為替差益	—	23
貸倒引当金戻入額	1	—
その他	66	39
営業外収益合計	173	197
営業外費用		
支払利息	19	38
為替差損	40	—
休業手当	9	—
その他	6	6
営業外費用合計	75	44
経常利益	694	1,171
特別利益		
投資有価証券売却益	110	312
特別利益合計	110	312
特別損失		
投資有価証券売却損	—	11
固定資産除却損	23	10
固定資産圧縮損	7	—
子会社清算損	—	102
特別損失合計	30	124
税金等調整前四半期純利益	775	1,359
法人税、住民税及び事業税	245	426
過年度法人税等	63	—
法人税等調整額	△43	212
法人税等合計	265	638
四半期純利益	509	720
親会社株主に帰属する四半期純利益	509	720

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	509	720
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△108	360
為替換算調整勘定	613	435
退職給付に係る調整額	0	4
その他の包括利益合計	504	800
四半期包括利益	1,014	1,521
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,014	1,521

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	775	1,359
減価償却費	261	346
のれん償却額	-	187
投資有価証券売却損益 (△は益)	△110	△301
子会社清算損益 (△は益)	-	102
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	△4
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△44	△78
退職給付に係る資産負債の増減額	△0	10
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△13	△29
受取利息及び受取配当金	△98	△128
支払利息	19	38
未収入金の増減額 (△は増加)	0	212
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,887	△172
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,344	△195
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,841	△145
前受金の増減額 (△は減少)	320	32
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△54	△83
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	60	△482
その他	92	△190
小計	△184	480
利息及び配当金の受取額	95	128
利息の支払額	△19	△38
法人税等の支払額	△378	△695
営業活動によるキャッシュ・フロー	△487	△124

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△316	△256
有形固定資産の売却による収入	—	5
無形固定資産の取得による支出	△152	△73
投資有価証券の取得による支出	△4	△54
投資有価証券の売却による収入	190	685
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による 支出	—	△4,469
貸付金の回収による収入	1	5
その他	△18	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△300	△4,167
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	241	2,392
長期借入れによる収入	—	400
長期借入金の返済による支出	△120	△197
社債の償還による支出	—	△5
自己株式の取得による支出	△1	△2
配当金の支払額	△581	△444
その他	△95	△90
財務活動によるキャッシュ・フロー	△556	2,052
現金及び現金同等物に係る換算差額	186	156
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,157	△2,083
現金及び現金同等物の期首残高	7,301	7,772
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,144	5,688

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、岩水開発株式会社の全株式を取得したため、連結子会社としております。また、岩水開発株式会社が全株式を所有する株式会社ナルトエスピー工業を連結子会社としております。

当第2四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であったTAKASHIMA(U. S. A.), INC. の清算手続きが終了したため、連結の範囲から除外しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	建材	産業資材	電子・デバ イス	賃貸不動産			
売上高							
外部顧客への売上高	22,413	7,896	8,410	97	38,817	—	38,817
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	0	13	3	17	△17	—
計	22,413	7,896	8,423	101	38,835	△17	38,817
セグメント利益	51	65	423	56	596	—	596

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日 至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	建材	産業資材	電子・デバ イス	賃貸不動産			
売上高							
外部顧客への売上高	26,313	8,198	7,401	96	42,010	—	42,010
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	0	10	3	15	△15	—
計	26,313	8,199	7,412	100	42,025	△15	42,010
セグメント利益	544	232	184	56	1,018	—	1,018

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

2023年4月1日付で実施した組織変更に伴い、第1四半期連結会計期間より、従来「産業資材」に区分していた高島株式会社の機能資材関連分野のうちビルメンテナンス事業および膜構造関連分野を「建材」に変更しております。前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分に基づき作成したものを記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「建材」セグメントにおいて、岩水開発株式会社を当社の連結子会社としたことに伴い、のれんを計上しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は5,370百万円であります。

(重要な後発事象)

(株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更)

当社は、2023年5月11日開催の取締役会に基づき、2023年10月1日付で株式分割を行っております。

1. 株式分割の目的

当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げることにより、投資家の皆様がより投資しやすい環境を整え、当社株式の流動性の向上と投資家層の更なる拡大を図ることを目的としております。

2. 株式分割の概要

(1) 分割の方法

2023年9月30日を基準日として、同日の最終の株主名簿に記録された株主の所有する当社普通株式1株につき、4株の割合をもって分割いたしました。

(2) 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	4,466,273株
今回の分割により増加する株式数	13,398,819株
株式分割後の発行済株式総数	17,865,092株
株式分割後の発行可能株式総数	56,000,000株

(3) 分割の日程

基準日公告日	2023年9月14日
基準日	2023年9月30日
効力発生日	2023年10月1日

(4) 1株当たり情報に及ぼす影響

1株当たり情報に及ぼす影響については、当該箇所に記載しております。

3. 株式分割に伴う定款の一部変更

(1) 定款変更の理由

株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づき、2023年10月1日をもって、当社定款第6条（発行可能株式総数）に定める発行可能株式総数を変更いたしました。

(2) 定款変更の内容

変更の内容は次のとおりであります。

(下線は変更部分)

現 行 定 款	変 更 案
第6条（発行可能株式総数） 当社の発行可能株式総数は、 <u>1千4百万株</u> とする。	第6条（発行可能株式総数） 当社の発行可能株式総数は、 <u>5千6百万株</u> とする。

(3) 定款変更の日程

効力発生日	2023年10月1日
-------	------------

4. 資本金の額の変更

今回の株式分割に際して、資本金の額の変更はありません。